

# 高速広域三次元走査型力顕微鏡による固液界面構造・現象の原子・分子スケール計測



宮田 一輝

金沢大学・助教

近年、周波数変調原子間力顕微鏡 (FM-AFM) や三次元走査型力顕微鏡 (3D-SFM) 技術の発展により、固液界面構造の原子・分子スケール計測が可能になりました。一方で、従来の計測例は原子・分子レベルで平坦かつ安定な表面が多く、表面や界面構造が動的に変化する様子や不均一な試料などの解析はほとんど達成されていませ

せん。本研究では、これらの技術を幅広い材料／水界面の二次元・三次元サブナノスケール解析へ用いるための技術開発及び応用研究に取り組み、原子・分子スケール固液界面計測技術の確立を目指します。

